

2015 年度経済学部前期授業評価アンケートの報告

経済学部教務委員

1. 実施概要と重点課題

(1) 実施概要

授業改善に役立てるために授業評価アンケートを期間中と期末の2回実施する。

- ・期間中アンケート：
(方法) 授業期間中の授業内で担当教員が調査票を配布・回収し、集計する。
(目的) 期間中の授業改善への活用。
- ・期末アンケート：
(方法) 授業期間後の成績発表時に nfu.jp を用いて学生が回答する。
(目的) 次年度以降の授業改善への活用。
- ・担当教員による授業評価報告書の作成：
期間中アンケートと期末アンケートの結果を踏まえて、担当教員が授業方法等の改善を検討し「授業評価報告書」を作成する。東海事務室は、担当教員が作成した「授業評価報告書」を学生に開示する。

(2) 2015 年度授業評価アンケートの重点課題

- ・学生の総学修時間の増加への取り組み
- ・学習支援を必要とする学生への対応
- ・経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践

2. 期末アンケートの集計結果 [別紙 集計結果参照]

集計対象： 67 科目 83 クラス (回答者数 0 のクラスを除く)

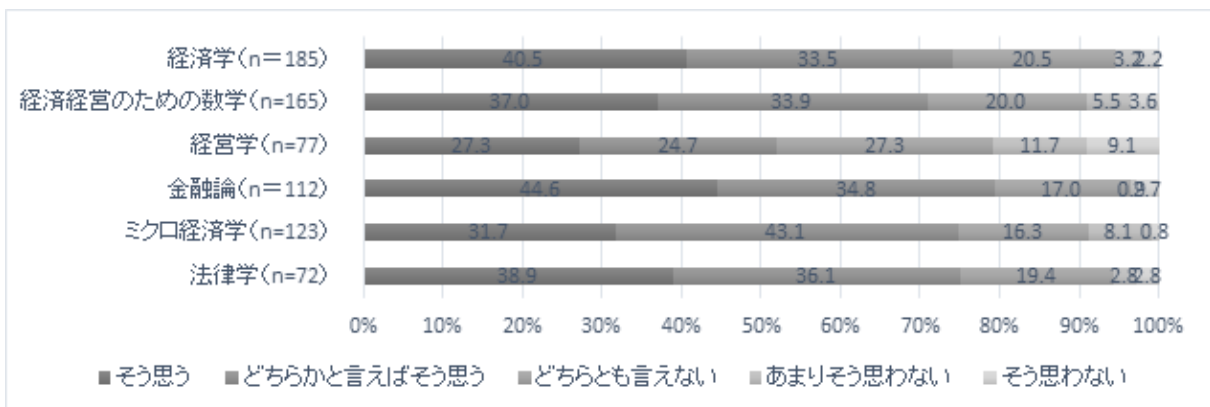
回答率 (履修者に占める回答者の割合) のクラス平均：91.9%

質問 1 この授業にがんばって取り組みましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：4.13

注) K 評価の学生を含まない。以下同様。

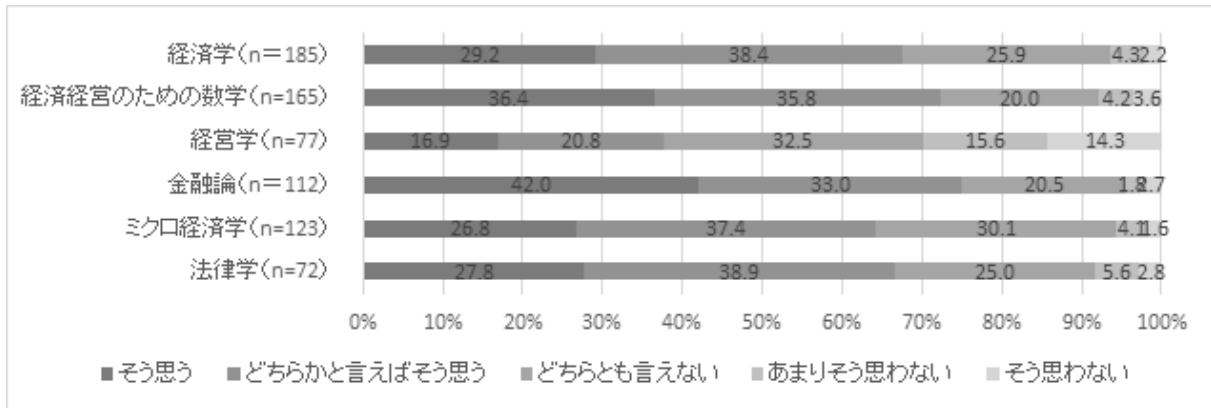
【参考 2014 年度と同じ質問に対する回答 (2015 年 1 月 FD 委員会資料より)】



質問2 授業の目標・内容を理解できましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：4.04

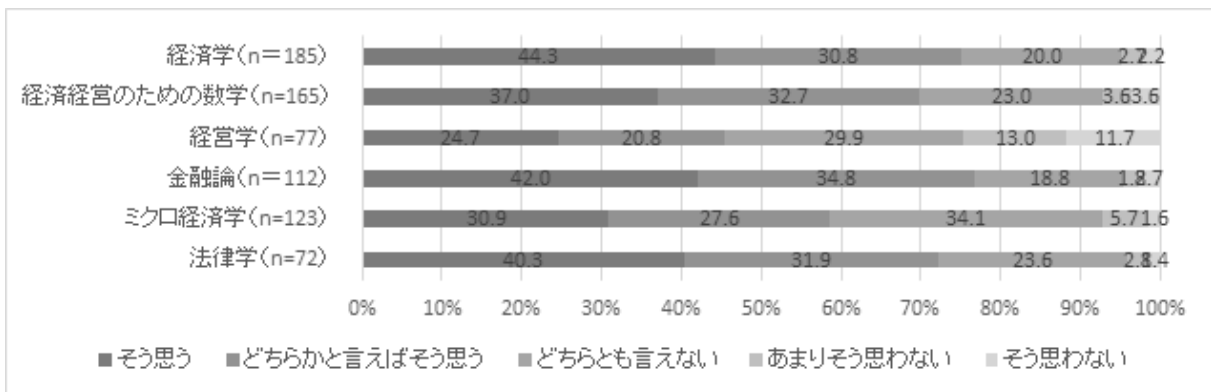
【参考 2014年度の同じ質問に対する回答】



質問3 教材（テキスト、レジュメなど）は授業の理解に役立ちましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：4.07

【参考 2014年度の同じ質問に対する回答】



質問4 教員はわかりやすい授業をしましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：4.05

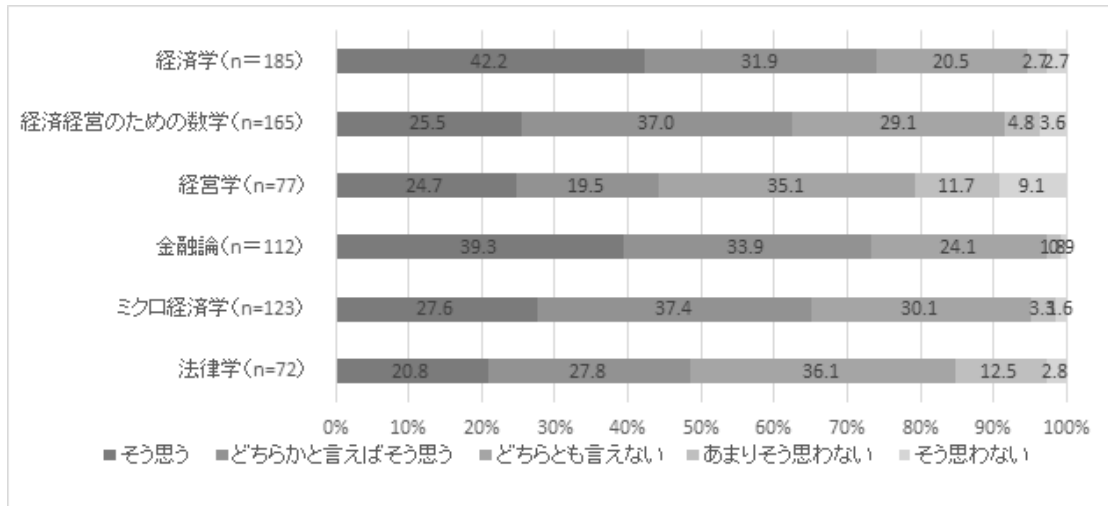
質問5 理解できなかった点を自分で調べたり教員に質問したりしましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：3.79

質問6 宿題、予習、復習をするような授業構成と教材（テキスト、レジュメなど）になっていましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：3.93

【参考 2014年度の同じ質問に対する回答】



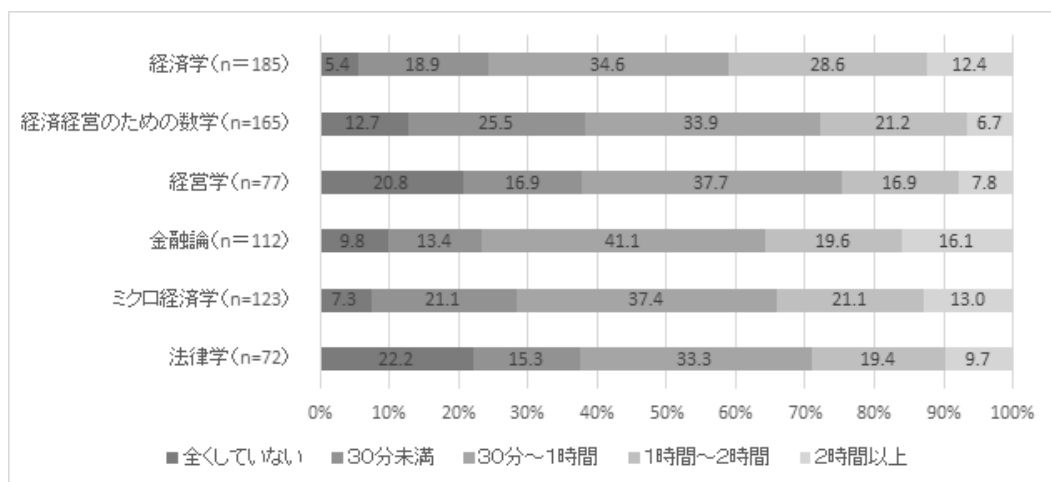
質問7 授業の課題（小テスト、宿題、グループ学習、フィールドワーク等）に積極的に取り組みましたか。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 思わない
評価のクラス平均：4.02

質問8 1回の授業に対してどの程度勉強しましたか。

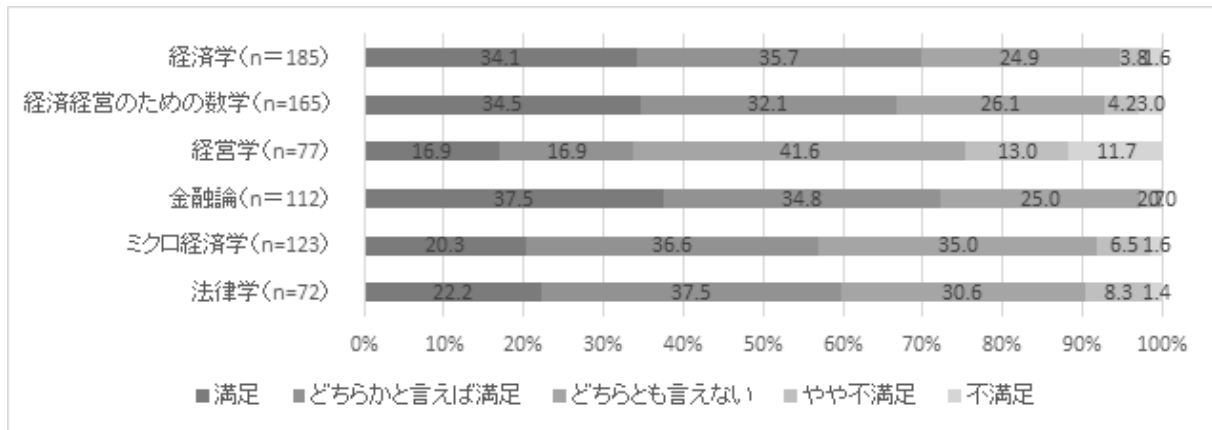
5. 2時間以上 4. 1～2時間 3. 30分～1時間 2. 30分未満 1. 全くしていない
評価のクラス平均：2.99

【参考 2014年度の同じ質問に対する回答】



質問 9 授業全体の満足度はどの程度ですか。
 5. 満足 4. やや満足 3. ふつう 2. やや不満 1. 不満

【参考 2014 年度の同じ質問に対する回答】



質問 10 この授業に関することを自由に記述してください。

3. 担当教員から提出された「授業評価報告書」の取りまとめ

(1) 取りまとめた授業評価報告書の科目

実技・演習系科目を除く講義科目のうち

経済学部専任教員担当分 22 科目、26 クラス（12 月 21 日までに提出された報告書）

意思決定論、医療福祉政策Ⅰ、管理会計、企業家論、企業法Ⅰ、キャリア開発Ⅰ、金融論、経営学、経営戦略、経済学（2 クラス）、経済経営のための数学（3 クラス）、経済統計、公共経済学、産業組織論、地域研究（2 クラス）、地域社会と共生、地理学、特別講義Ⅱ、日本の歴史、日本史特講、福祉経営情報演習、労働経済学

(2) アンケート結果に対する教員の取り組み事例

設問 1 中間アンケートの質問 1～質問 3 についての学生の回答結果を踏まえ、どのような問題を把握し、その問題に対して行った授業改善の取り組みを箇条書きでお答え下さい。

- ・ 質問 1 話し方や声の聞き取りやすさ
- ・ 質問 2 板書やパワーポイントの文字の大きさや見やすさ
- ・ 質問 3 配布したプリントなどの資料のわかりやすさ

【設問 1 に対する授業改善の取り組み】

- ・ 数学の、経済学への適用場面の説明にできるだけ時間を費やし、最低限の数学をマスターすることの重要性の認知度を高めることに注力した。一定の訓練が必要と思われる箇所については、練習問題を別途作成し、ミニテスト形式で解答させた。
- ・ 昨年度と同様に、テキストを使用して授業を行った。テキストは印刷をせずに、nfu.jp に pdf ファイルで閲覧やダウンロードできるようにしていたが、学生からは不自由であるという意見はなかった。今年度は、2 名の学生が黙って教室を出ていくことが 1 回だけあった。これまで、トイレを目的とする教室の出入りは、学生の自主性を重んじて授

業妨害にならない範囲であれば特に指導をしなかった。しかし、今回の学生は、その趣旨をはき違えていたので、次の週に注意を行った、その後、勝手に教室の出入りをすることはなくなった。

- ・オンデマンド講義内で統計の収集と加工方法を説明し、受講生が実際のデータに接する機会を設けた。スライドで特に強調すべき点は、認識しやすくするために青地あるいは赤地に白字で記載した。
- ・例年同様ゲスト講義ではできるだけ長く質疑応答の時間をとるように時間配分を行った。質問も挙手するのが苦手な学生が多いと思われるので紙に書いて提出する方式も採用している。しかし、挙手して質問を行うことができる学生も数人いたが、例年に比べて質問者が非常に少なく、学生の反応が分かりにくかった。また、毎回の授業について字数制限やペン使用など、条件をつけた作文課題を何回も出しているが、今年は例年よりも回数が多く、文章を一定の条件下で書く練習はできたのではないかと思う。
- ・中間アンケートから、少し説明が早くなる時があるという指摘があったので、繰り返し説明を行った。また、毎回ミニッツレポートを提出してもらい、質問や要望にはなるべく答えた。ただ、ミニッツレポートは評価対象としないせいか、注意しても何も書かない学生が多数いた。今後、他の授業でミニッツレポートを提出させる場合には、その都度授業に対する質問や感想を必ず書くようにさせる注意喚起を行いたい。

設問 2 以下の 3 点について、どのような取り組みをなされたのかについて、また今後改善するのならどのような取り組みを行うのかについてお答え下さい。

①学生の総学修時間増加に取り組む（期末アンケートの質問 6、質問 8 等を参考にお答え下さい）

【設問 2-①に対する授業改善の取り組み】

- ・毎回の授業で、その日の授業を復習するための自習用プリントを配布した（解答は nfu.jp に掲載）。授業開始時の約 5 分、前回の授業内容を確認するための問題を解かせた（復習をして教室に来させるため）。中間テストを実施した。レポート課題を与えた（提出は任意）。
- ・宿題は、最低限必要な基礎的知識に関する問題を中心としたため、内容を理解していれば 30 分未満で解答できると考えている。今後、宿題に難易度の高い問題を含めることも検討したい。なお、宿題はほぼ毎回出題した。
- ・3 回実施する小テストについてはテキストと手書きノートの持ち込みを認めたが、授業中は PPT スライドをスマホ等で撮影して説明を聞くことに集中するようにさせ、自宅その他でそれを手書きノートに移し替えるようにすれば持ち込み可能とすることでノートする時間をとることへのインセンティブを高め、少しでも学習時間が増えるように促した。
- ・質問 8 授業外勉強時間については「1～2 時間」が 5、「30 分～1 時間」が 6 と分かれる結果となった。どのような学生が多く勉強時間をとっているか不明であるが、単に宿題を解く時間の差が反映されている可能性もある。最低 1 時間の勉強時間を目指して指導したい。
- ・約 6 割の学生が、授業外の学習を 30 分以上しており、宿題・予習・復習をするような授業構成になっていると回答している。本授業は、グループ学習を採用している。したがって、次回の授業までに調べたり、考えてくることができない学生が正直にアンケートに回答したのがこの結果であろう。ただし、グループワークに協力しない学生は、必然的に最終レポートの出来が悪くなる。また、数値で評価されない統率力のような「力」を得ることは無い。これらのことを、グループワークに協力しない学生には、授業毎に注意をした。

②学習支援を必要とする学生に対応する（中間アンケートの質問7、期末アンケートの質問5等を参考にお答え下さい）

【設問2-②に対する授業改善の取り組み】

- ・理解が十分でない学生には、授業後にしばらく時間をとって追加説明をしたが、スタディサポートセンターの活用をはじめ、よりよい方法を追求したい。
- ・毎回の授業で解かせる復習問題の用紙には、質問を書く欄を設けている。そこに書かれた質問に対しては、回答を記入したり、自分で調べてくださいなどを書いたりして返却している。宿題の出来の悪い学生には再提出を求めた。
- ・グループ作業の場面など、受講生規模に対して教員が過少になり、十分なサポートが行えていなかったと感じている。プログラム内容を吟味したい。
- ・定期試験の結果があまりよくなかった。日頃の学習が定期試験の成績に反映できるよう論述試験への対応を考えた取り組みが必要であると考えている。
- ・毎回授業の最後に、その日の講義のポイントとなる問題について5～10分程度で回答する「確認テスト」を実施し、その都度のポイントを意識して再確認できるようにした。あまり多くはなかったが、授業後に質問に来る学生にはすべて丁寧に対応した。

③経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育を実践する（記入例：科目概要にディプロマ・ポリシー「市場経済の仕組みについて説明できる」を反映させた）

【設問2-③に対する授業改善の取り組み】

- ・3年生を対象とした授業であることから、就職を意識した地域産業に関わる歴史的事象を多くした。そのことにより、活力や競争力のある地域経済の実現を目指すというディプロマ・ポリシーに沿った授業ができた。
- ・将来、高校地歴の教員として⑤人材を育成するための知識と技能を身につけることができるよう、高校地歴の教科書を教材として活用した。また⑦地域社会や職場などの現場に存在する問題の解決に向けて行動をとることができるよう、身近な地域である知多半島の地誌を講義内容に取り入れた。さらに⑩考えを図式化して表現することができるよう、統計地図の作図・読図、コンピュータを用いた地図作成等の演習を行った。
- ・ディプロマ・ポリシーの(2)をふまえ、科目概要の学習目標に「市場における公正かつ自由な競争はなぜ必要なのか、それはどのような状態かを説明できる」を加えた。独占禁止法の内容や同法違反事件などの紹介を通し、公正かつ自由な競争を維持・促進するための法律である独占禁止法の学習が、「市場経済の仕組みを理解し、目標達成のための合理的な思考と行動能力を身につけ」ること（ディプロマ・ポリシー(2)）につながるという理解を促した。
- ・「金融市場の仕組みと、金融取引に必要な金融商品の仕組みを理解できるようにする。」まさにこの方針に沿った授業を行っている。学生の金融市場に関する基本知識が不足しており、金融論等との体系的な勉学が求められる。金利計算方法や金融用語についての解説等もプリントや宿題等でさらに問う必要があると考える。
- ・「考えを論理的に伝えることができる」「考えを図式化して表現することができる」を意思決定の方法・テクニックの中の基本的な方針として据え、これらの目標が達成できるように指導した。